

【階上町教育委員会】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

文部科学省の提唱するGIGAスクール構想に基づき、高速大容量の通信ネットワークを整備し、町立小中学校児童生徒が1人1台の学習者用端末を十分に活用できる環境を構築する。

Society 5.0 時代を生きる子供たちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められており、こうした中で、多様な子供たちを誰1人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる。

2 GIGA第1期の総括

令和3年度からGIGAスクール構想が実施された。ネットワーク環境を整備し、タブレットの配布を行ってから4年が経過した。導入当初と比較して、児童生徒が互いにタブレットで動画を撮影し、クラスで意見共有を図りながら、課題に対するより良いアプローチを考察する姿が見られた。このことから、タブレットを活用することが学校生活に浸透してきたことが伺える。

その一方で、デジタル機器の扱いにおける教員の習熟度には差が見られ、また、持ち帰りについては、各家庭に持ち帰った後、児童生徒が「遊び」に使わないようにする方策の検討が必要であり、今後の課題となっている。

デジタル機器の扱いにおける教員の習熟度改善については、研修会を定期的で開催し導入するシステムについては事前にテスト導入を行うことで、教員が使い易い製品及び環境を構築する。タブレットの持ち帰りについては、フィルタリングアプリを活用し、持ち帰り後も使用時間に制限をかける等の対応を検討していく。

3 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末の利活用方策については、授業支援アプリや電子黒板等のデジタル機器をタブレットと併せて活用する。授業支援アプリを活用し、電子黒板を介して授業を行うことで、教員や児童生徒間での意見共有の頻度が飛躍的に向上する。さらに、この環境において、教員が全ての児童生徒の意見や課題の進捗状況を常に確認することができ、個人の進捗状況の確認とそれに応じた対応を行うことが可能となる。

また、学びの保障の観点から、不登校の児童生徒に対するタブレットの持ち帰り学習や、今後、保護者とのやり取りに柔軟性を持たせるため、オンラインでの面談実施等も検討していく。